

# 文化庁日本語教育大会 第1分科会

## 地域日本語教育コーディネーターの 実践紹介

ファシリテーター ヤン・ジョンヨン（群馬県立女子大学）  
発表者 古橋哉子（公益財団法人静岡県国際交流協会）  
鈴木恵美子（公益財団法人千葉市国際交流協会）  
原 千代子（川崎市ふれあい館）

# 地域日本語教育の3つの活動ステージと5つの役割

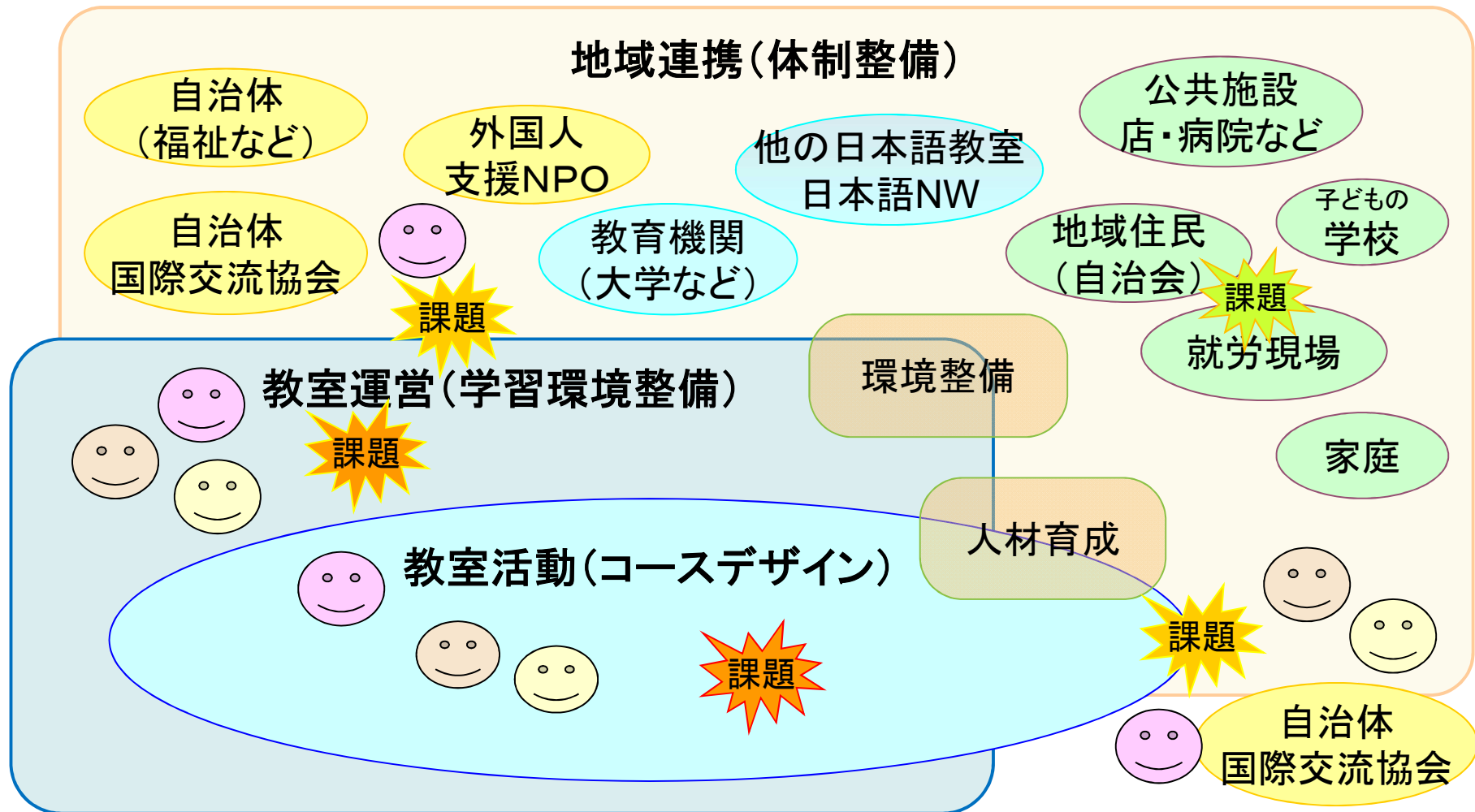
現状把握  
課題設定

ファシリテーション

連携

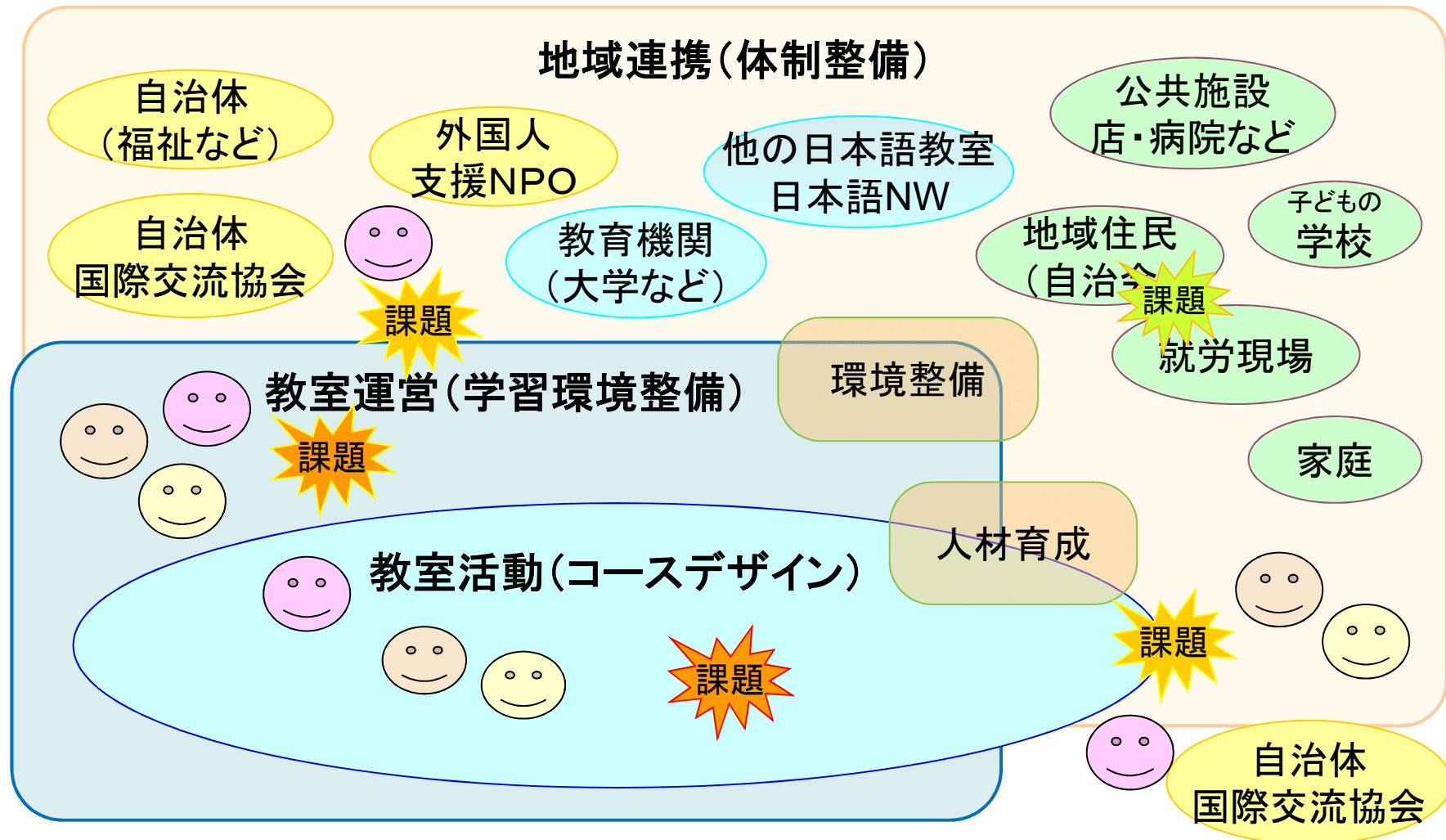
リソースの  
把握・活用

方法の  
開発



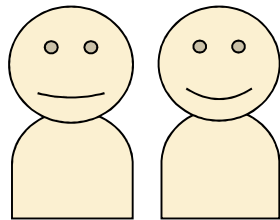
# コーディネーターの3つの活動ステージ

活動ステージ



# 「生活者としての外国人」の社会参加

社会参加



地域社会の中で孤立することなく生活していくために必要な日本語能力を習得し、社会参加することにつながるか

- ・日本語が必要
- ・日本語が堪能
- ・日本語に不自由
- ・日本語ができない
- ・日本語は必要ない

課題

- ・日本語教室に参加
- ・継続的に参加
- ・ときどき参加
- ・途中から不参加
- ・参加経験なし

課題

課題

- ・社会参加できる
- ・あらゆる領域で可能
- ・限定的に可能
- ・支援があれば可能
- ・社会参加できない

課題



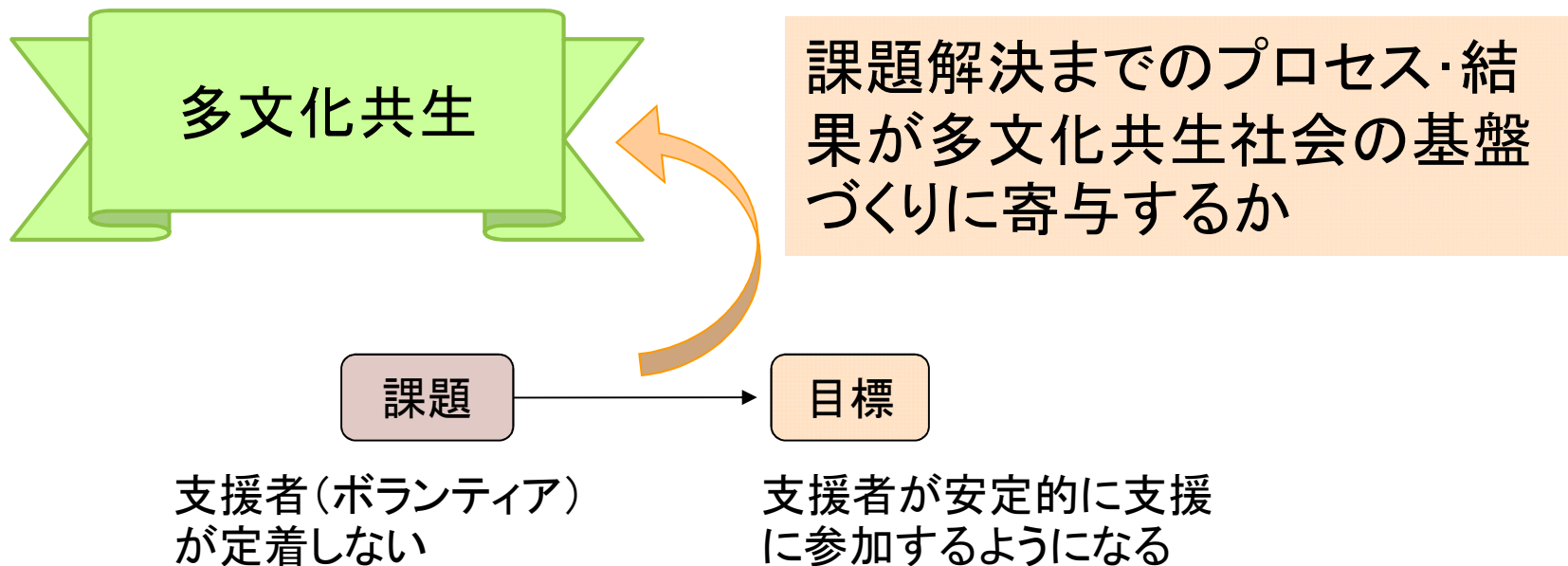
私的領域

公的領域

# 地域日本語教育(活動)の目的

---

- 地域日本語教育の前提  
→ 多文化共生社会の基盤づくり



# 実践事例報告の聞き方

---

- 活動ステージ

- 課題設定

  - 現状把握のために何をしたか
  - 課題設定の失敗談

- 課題解決のプロセスでの「5つの役割」

- 課題解決の結果・プロセスを

  - 3つの視点で振り返って

# 実践事例報告

---

- **報告 1 都道府県での活動事例**  
公益財団法人静岡県国際交流協会  
古橋 哉子さん
- **報告 2 市区町村での活動事例**  
公益財団法人千葉市国際交流協会  
鈴木 恵美子さん
- **報告 3 公共施設での活動事例**  
川崎市ふれあい館  
原 千代子さん

.....  
\* 質疑応答・ディスカッション